



TITLE:

[アウトリーチ]見学・実習など

AUTHOR(S):

---

CITATION:

[アウトリーチ]見学・実習など. 京都大学大学院理学研究科附属天文台  
年次報告 2015, 2013年(平成25年): 44-47

ISSUE DATE:

2015-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/218107>

RIGHT:

## 9 アウトリーチ

### 9.1 見学・実習など

#### 9.1.1 飛騨天文台

(小中学生)

1. 韓国中学生 (5月20日) 約40名
2. 古川中学こども会 (7月15日) 親子9名
3. 高山市教育委員会サイエンスパートナーシッププログラム (7月25日) 24名
4. NPO 法人花山星空ネットワーク 子供自然体験教室 (8月4日-5日) 40名
5. 神岡小学校 (10月3日) 65名

(高校生)

1. 静岡北高校 (4月24日) 27名
2. 刈谷高校&岡崎高校 (7月29日) 22名
3. 足利高校 (8月1日) 22名
4. 新潟南高校 (8月8日) 23名
5. 恵那高校 (8月9日) 40名
6. 浦和西高校 観測実習 (8月18日-21日) 7名 (生徒6名、教員1名)

(大学生、大学院生)

1. 京大 大学院宇宙物理学専攻 M1 (5月11日-12日) 4名
2. 茨城大学 観測実習 (6月18日-22日) 6名
3. 太陽研究最前線体験ツアー (8月6日-8日) 14名 (学生13名、TA1名)
4. 京大 全学共通科目 天体観測実習 (8月26日-30日) 12名 (学生8名、TA3名)
5. 京大 ポケットゼミ「活動する宇宙」 (8月30日-9月1日) 5名
6. 京大 ポケットゼミ「太陽の活動を観てみよう」 (9月23日-25日) 7名
7. 京大 課題演習 C4 (12月14日-16日) 5名

(一般 大人&子供)

1. 一般公開 (8月3日) 106名
2. 上宝町ふるさと部 (8月17日) 20名
3. 飛騨地域観望会 (8月24日) 約80名

(一般 大人)

1. NHK BS コズミックフロント ロケ (1月29日-30日) 3名
2. 創価中学教員 (5月21日) 4名
3. 南砺市中学教員 (8月9日) 8名
4. BS フジ ガリレオ X 取材 (9月3日) 3名
5. 大阪電通大 (9月13日) 3名
6. 大阪久米田高校教員 (9月14日) 5名
7. 飛騨市功労者会 (9月30日) 37名
8. オープンカレッジ (10月5日) 約20名
9. NPO 法人花山星空ネットワーク 自然再発見ツアー (10月12日-13日) 21名
10. 電気設備学会 中部支部会 (10月24日) 15名

11. Hinode-7 エクスカーション (11月15日) 72名
12. 京都私学教員 (12月1日) 8名

計 33 件 (約 780 名)

台風で中止: 放送大学 面接授業 (10月26日-27日)

### 9.1.2 花山天文台

(幼稚園、小中学生)

1. 滋賀 虎姫中学 (4月18日) 約10名
2. 京都市青少年科学センター (7月30日) 20名
3. 岡山 浅口市中学生 (8月24日) 約40名
4. 京大 ジュニアキャンパス (9月14日) 約20名
5. 京都 美豆小学校 (9月17日) 58名
6. 京都 葵小学校 (9月17日) 73名
7. 京都 七条第3小学校 (9月17日) 66名
8. 京都 岩倉南小学校 (9月18日) 131名
9. 京都 乾隆小学校 (9月19日) 34名
10. 京都 大宅小学校 (9月19日) 127名
11. 京都 小栗栖宮山小学校 (9月20日) 63名
12. 京都 上高野小学校 (9月20日) 43名
13. 京都 陵ヶ岡小学校 (10月24日) 53名
14. 京都 東山幼稚園 (10月24日) 約70名
15. 京都 洛北高校附属中学 (11月5日) 約80名
16. 京都 橘中学 (11月21日) 55名

(高校生)

1. 滋賀 米原高校 (5月19日、7月7日、9月28日、12月8日) 各7名程度
2. 京都 洛東高校 (6月19日、7月20日、8月24日、11月4日) 20名
3. 岐阜 岐阜高校 (7月30日) 5名
4. 大阪 住吉高校 (8月13日) 24名
5. 京都 紫野高校 (8月15日) 8名
6. 京大 オープンキャンパス (8月8日) 約10名
7. 京都 洛東高校 (8月16日-19日) 8名
8. 滋賀 彦根東高校 (8月22日) 7名
9. 島根 益田高校 (10月17日) 15名
10. 三田祥雲館高校 (10月18日) 7名
11. ELCAS 宇宙地球分野 太陽観測実習 (10月19日) 7名

(大学生、大学院生)

1. 京大 宇宙物理新 M1 ガイダンス (4月22日) 3名
2. オランダ De Leidsche Flesch (5月6日) 40名

3. 京大 ポケットゼミ 「活動する宇宙」(5月22日) 5名
4. 京大 ポケットゼミ 「人文社会学からアプローチする宇宙」合宿(8月5日-6日) 9名
5. 京都産業大学 神山天文台ボランティアチーム (11月24日) 約10名  
(一般 大人&子供)
1. NPO 法人花山星空ネットワーク観望会  
(3月16日、4月20日、5月18日、7月27日、8月31日、11月2日) のべ542名
2. 京都大学教育学研究科こころの支援室 主催 「天文台ツアー」(5月6日) 約20名
3. ガレリアかめおか(7月29日) 34名
4. 山科醍醐こども広場(10月20日) 約20名
5. 特別公開ウィーク:平日公開週間(9月17日-20日) 計260名
6. 特別公開ウィーク:野外コンサート(9月22日) 約200名  
(一般 大人)
1. 愛京神会(4月9日、5月9日) 計14名
2. 放送大学 面接授業(5月11日-5月12日) 約20名
3. 京都千年天文学街道 花山コース(4月29日、5月12日、5月25日、6月23日、  
7月13日、11月3日、11月30日) のべ80名
4. 京都府教員(8月1日) 約20名
5. 京都 園部高校 教員研修(8月20日) 約10名
6. 眼光学学会(9月6日) 36名

計55件(約2400名)

台風で中止: 一般公開(9月16日)

### 9.1.3 天文台外でのイベント

1. NPO 法人花山星空ネットワーク講演会(6月2日、12月7日)  
<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/hosizora/kouenkai/kouenkai11.html>  
<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/hosizora/kouenkai/kouenkai12.html>
2. 京都大学飛騨天文台特別イベント「わくわく宇宙と太陽の日」(11月16日)  
 ひので7会議後の市民向けイベント  
 会場: 飛騨・世界生活文化センター(岐阜県高山市)  
[http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/hinode-7/takayama\\_poster.pdf](http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/hinode-7/takayama_poster.pdf)
3. 宇宙落語会(11月30日)  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news\\_data/h/h1/news4/2013\\_1/131130\\_1.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news4/2013_1/131130_1.htm)
4. 京都千年天文学街道ツアー  
<http://www.tenmon.org/>

#### 9.1.4 花山天文台特別公開ウィークと野外コンサート

平成 25 年 1 月に、理学研究科附属施設の花山天文台が、京都市より「京都市民が残したいと思う京都を彩る建物や庭園」に選ばれたことを記念し、9 月 16 日 (月/祝) から 20 日 (金) まで花山天文台を公開した (特別公開ウィーク)。22 日 (日) にはそのフィナーレとして、音楽家の喜多郎氏を招いて野外コンサートを開いた。いずれも花山天文台の 84 年にわたる長い歴史の中で初めての試みであった。

初日の 16 日 (月/祝) は台風 18 号の影響により、残念ながら中止せざるを得なかったが、その後の一週間は秋晴れが続き、絶好の見学・天体観望日和となった。17 日 (火) から 20 日 (金) までの午前中には、京都市教育委員会の協力により、京都市内の小学校 9 校、生徒総数 600 人が花山天文台に見学に訪れ、太陽ライブ観望など楽しんだ。また特筆すべきことに、このとき、ボランティア参加として京都市立堀川高等学校の生徒が小学生を引率した。午後から夜には、一般の市民の方々が総数 200 人ほど訪れ、施設見学、ミニ講演、4D 宇宙シアター、45cm 屈折望遠鏡による月観望などの企画を楽しんだ。

またこのとき、京都の芸術系大学との連携で、宇宙映像などをヒントにした芸術作品の展示企画「ギャラリーウィーク」も天文台を展示会場として開催した。

最終日の 22 日 (日) の野外コンサートでは、中秋の名月を観ながら、約 300 人の参加者が、喜多郎氏夫妻による素晴らしい演奏を楽しんだ。コンサートのはじめに、柴田一成花山天文台長が開催の経緯を説明するとともに、花山天文台の将来構想 (宇宙科学館 + 野外音楽堂構想) を紹介し、また、門川大作京都市長から心温まる祝辞をいただいた。

コンサートの最後、喜多郎氏がたて笛を吹き始めたときに月を覆っていたうす雲が、素晴らしい笛の音とともに次第に晴れ上がっていく様子は、まさに感動的なシーンであった。



(左) 花山天文台本館ドームと柴田天文台長挨拶 (右上) 喜多郎氏による演奏風景 (右下) 祝辞を述べる京都市門川市長